

## 第 71 回 毎日書道展中国展

開展式漢字・かな・近代詩文書・大字書・篆刻・刻字・前衛の 7 部門にわたり、毎日書道展の入賞・入選作品のうち、山口県を除く中国 4 県の作品や、全国 10 会場を巡回する毎日書道展役員の作品など約 870 点が展示された。

期日 8 月 20 日 (火) ~ 25 日 (日)

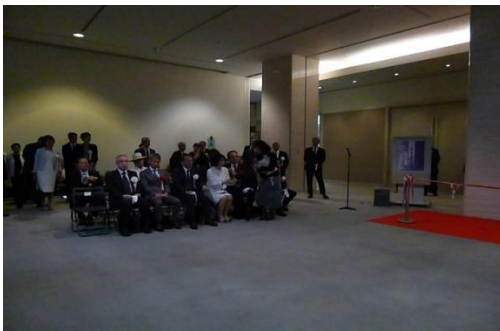
会場 広島県立美術館 地下 1 階県民ギャラリー

### ■ 開展式

日時 8 月 20 日 (火) 午前 10 時~

会場 広島県立美術館 地下 1 階県民ギャラリー

毎日書道展中国展では 870 点の作品が展示された。今年は特別陳列として「手島右卿一霊火燃え立つ」を展示し、会場は多くの鑑賞の方々に埋め尽くされた。



開展式前会場風景



開展式テープカット

毎日書道展は今年 71 回を迎え、作品は 32000 点が展示されました。そのなかで、中国展では 870 点をこの会場に展示しております。漢字部門から前衛書まで 7 部門の作品があります。普段見ることのできない作品もありますから、25 日まで何度でも足を運んでいただきゆっくりご覧ください。

会場に展示されています「盈」という字は、今年 6 月 16 日毎日書道会理事であり中国展の顧問でもありました大楽華雪先生が、亡くなられる 3 か月前に書かれたものです。「盈」には満ち足りるという意味があります。力を絞った線と造形が、生き生きとして残っております。是非ご覧ください。

## 特別陳列 手島右卿 一盞火燃え立つ



手島右卿は戦後の書壇で「造形美術としての書」を展開した現代書のパイオニアで、海外でも注目され、高く評価されています。

1935年（昭和10年）比田井天来につき、書学院で上田桑鳩、大澤雅休、比田井南谷たちと文学や美術を語り合ったといいます。第1回全日本書道展（現毎日書道展）には運営委員、審査員として参画しました。漢字作品は一流なのはもちろんですが、「文字を書く芸術」の枠を超え、あたかも絵でもデッサンするかのように自然や風景から書を構想する稀な天才であったと言えます。才智あふれる手島右卿芸術の一端をご覧ください。

### 顕彰式・祝賀会

#### ■ 顕彰式

日時 8月20日（火）午後0時半～午後1時半

会場 リーガロイヤルホテル広島・4階ロイヤルホール

はじめに今年6月16日に、毎日書道会理事であり、中国展の顧問をされておりました大楽華雪先生が享年88歳でご逝去されましたので、皆さんで黙とうを致しました。ご冥福をお祈りいたします。

■ 毎日賞記念品授与



丹木恵香さん

■ 佳作賞記念品授与



林 桜華さん



渡邊里彩さん

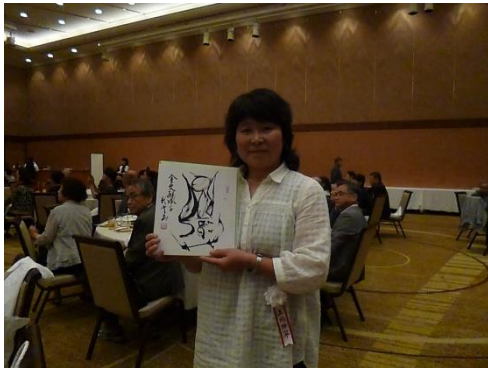
## ■ 祝賀会

日時 8月20日(火) 午後1時半～午後3時半

会場 リーガロイヤルホテル広島 4階ロイヤルホール

### 色紙プレゼント

今年は抽選で一華会会員5名が当選しました。





受賞者の皆さんと一華会会員の集合写真

## 席上揮毫

日時 8月24日(土) 正午～

会場 広島県立美術館 地下1階県民ギャラリー

○ 高校生による席上揮毫(クラーク記念国際高校)



## 講評 実行委員長 山田翠香先生

大きな作品を書き上げることのへの緊張感が、書き始めていくうちにほぐれていきましたね。「日」の一目目に良い線が描けました。飛散を出すのはなかなか難しいですが、ご指導された先生の結果が表れていることと思います。空間も上手に生かされており、素晴らしい作品になりました。字を書くということは、字には意味があるので、その意味をよく理解して、作品にすることが大事だと思います。今後も頑張ってください。

### ○ 書家による席上揮毫



席上揮毫される書家の皆さん



一華会会員の榎岡紫風さん